

バイク用 前後録画ドライブレコーダー 【取扱説明書】

DVR-B002

この度は本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
なお、お読みになった後も大切に保管してください。

使用上のご注意

本機についての注意事項です。必ずお読みください。

- 本機は録画状態で使用することにより映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 録画された画像は事故の証拠として効力を保証するものではありません。
- 運転者は走行中にモニターを注視したり操作しないでください。前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。操作する場合は安全を確保したうえで行うようにしてください。
- SDカードを使用した場合の動作保証及びデータの損傷、破損については一切保証いたしかねます。
- 故障や本体の使用によって生じた損害、及び記録された映像やデータの損傷、破損による損害は、法律上の請求の原因の種類を問わずいかなる場合においても本製品の使用または使用不能から生じる損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失又はその他の金銭的損害を含む)に関して、弊社は一切の責任を負わないものとします。

※以下の場合などは、映像の記録ができないことがあります。

- 1.本機にmicroSDカードを挿入していない場合
- 2.本機からmicroSDカードを抜いた場合
- 3.本機の仕様と適合するmicroSDカード以外を使用した場合
- 4.記録した古い映像が、新しい記録によって消されて(上書きされて)しまった場合
- 5.大きな事故や水没などで本機及びmicroSDカードが損傷を受けた場合
- 6.大きな事故の場合などでバッテリーと本機との電源コードが断線した場合
- 7.低速で衝突、または、相手車両との相対速度が小さい状態で衝突した場合
- 8.自車両、相手車両の衝突緩和箇所と衝突した場合
- 9.自車両に対して相手車両が軽い、または、相手が人や自転車の場合
- 10.相手車両の側面をこするように衝突した場合
- ※9.10.相手車両が軽かったり(対人、対自転車など)、相手車両が回転すると、衝突時の衝撃が受け減され、自車両への反発の衝撃が小さくなります。
- 11.雪道や凍結路で急ブレーキをかけた場合
- ※雪道や凍結路では、タイヤと路面との摩擦が少なく、小さい衝撃でもスリッパしますので、Gセンサーでの検知が困難になります。
- 12.衝撃が弱く、本機が検知するように設定されたセンサー感度に満たない場合
- 13.本機の本体が固定されていないなど、本機の取付状態に問題がある場合

安全上のご注意

この取扱説明書及び製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよくご確認いただいてから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、傷害または家屋、家財など損害が想定される内容を示しています。

警告

- 本機はDC12V/24Vバッテリー搭載車専用です。
上記以外の車両にはご使用いただけません。火災や事故の原因となります。
- 本機を分解したり、改造しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。
- 電源コードの被膜を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。
電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 本体やステー、カメラのネジの緩み、取り付けた部品の両面テープに剥がれ等がないか、定期的に点検を行ってください。
運転の妨げや事故の原因となることがあります。
- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。
- 万一、異物が入った、非防水箇所に水がかかった、煙が出る、変な匂いが出るなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げになった販売店に相談してください。
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 運転者は、走行中にmicroSDカードの抜き差しやスイッチの操作をしないでください。
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 本機が衝撃を検知するかを確かめるために故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。
- 機器内部に水や異物を入れてください。
発煙、発火、感電の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、本機に触れないでください。
落雷により、感電の危険性があります。
- 本機を使用するために、禁止された場所に駐車しないでください。
- microSDカード挿入口に手や指、異物を入れてください。
けがや火災、感電の原因となります。

注意

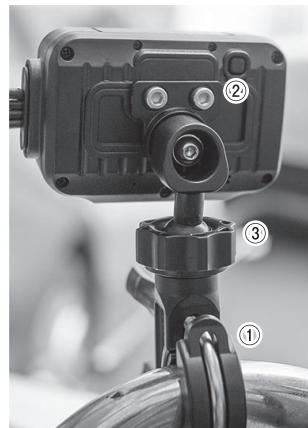
- 本機の取り付け時は、安全のため必ず専門の業者に依頼してください。
取り付けには専門技術が必要です。
- 本機をバイク搭載用以外には使用しないでください。
感電や怪我の原因となることがあります。
- 本機は、運転時の状況を記録することが目的です。その他の目的では、使用しないでください。
- 本機に、強い力やショックを与えることはしないでください。
火災、故障のおそれがあります。
- 長期間使用しない場合は、電源ケーブルの中継コネクタを外してください。
車両のバッテリー上がりの原因となります。
- 外した中継コネクタはビニールテープ等で水や異物が入らないようにしてください。
- 本機にガソリン、油脂類、有機溶剤、酸、ブレーキフルード等を付着させないでください。
付着部が劣化し、破損や故障の原因となります。
- 指定以外のヒューズは使用しないで下さい。
発熱や発火、火災や故障の原因となります。
- 本機を水没または長時間にわたり水がかかる場所での保管及び使用はしないでください。
- 本機は防水構造となっておりますが、洗車時に高圧洗浄機や細く絞ったホースの高圧水を本機に直接かけないでください。
- 本体、カメラ、リモコンを清掃する場合は、水を含ませた柔らかい布で軽く拭いてください。
乾いた布で強くこすると傷の原因となります。また、ベンジンやシンナー等の溶剤や研磨剤は絶対に使用しないでください。劣化し破損や故障の原因となります。

取付方法

各部品を取り付ける前に仮配線して動作確認してください。

本体の取り付け

- ①マウントステーの手回しナットを外し、本体が見やすい位置を決めてU字金具をバイクのハンドルに回して手回しナットをしっかりと締めて固定します。(対応ハンドル径:17mm~32mm)
- ②マウントステーと本体を2個のボルトで固定します。付属の六角レンチでしっかりと締めてください。
- ③ボールジョイントを緩め本体を見やすい角度に調整し、ボールジョイントを固定します。



リモコンの取り付け

リモコンは手元で操作しやすいハンドル部分などに両面テープで貼り付けます。



カメラの取り付け

前後カメラはライトやバンパー付近、ナンバープレート周りなどお好みの位置に、両面テープまたはネジで取り付けてください。

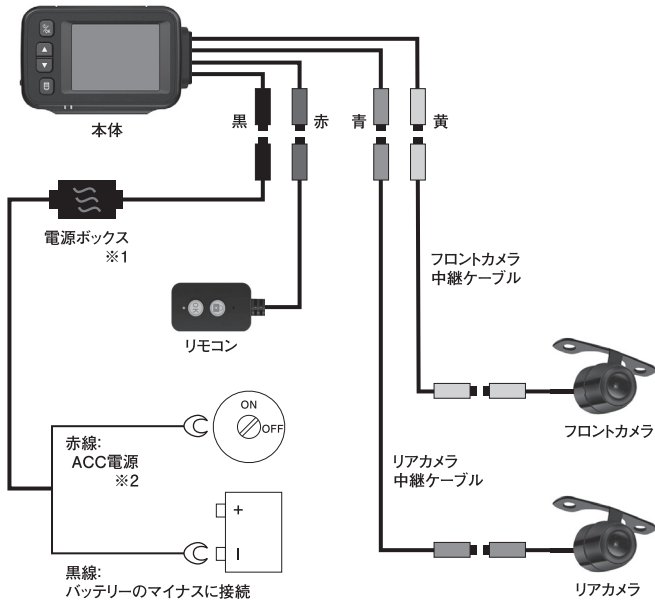
※取り付けの前にカメラ表示範囲をモニターでご確認ください。

●取付例



ご注意 各部品は確実に装着しないと、走行中に落下する恐れがあります。

配線イメージ



- ※1. 電源ボックスは防水非対応です。水がかかる場所には設置しないでください。
 ※2. 電源接続はACCから取ってください。バイクバッテリーから電源を取るとバッテリー上がりの可能性がありますので、予めご了承ください。

本体各部名称



- ①microSDスロット
 ②電源/確認 (OK)
 ③アップ/ダウン
 ④モード切替 (短押し) / 設定画面 (長押し)
 ⑤液晶画面
 ⑥通電ランプ
 ⑦録画ランプ
 録画中…点灯
 録画停止中…点滅
 ⑧リセットボタン

microSDカードの挿入・取り出し方法

■microSDカードを挿入する

- 1.本機の電源を「OFF」にする
- 2.microSDスロットのカバーを開け、メモリーカードの読み取り面を手前にして奥まで挿入する
- 3.カバーをしっかりと閉める

向きにご注意ください



■microSDカードを取り出す

- 1.本機の電源を「OFF」にする
- 2.カバーを開けメモリーカードを引き抜く
- 3.カバーをしっかりと閉める

ご注意

microSDカードは本体からフォーマットを行ってください。
 Gセンサー作動によりロックファイルが生成されると上書きできなくなりますので、microSDカードは1週間毎にフォーマットしてください。

※対応範囲:128GBまで、Class10かつFAT32必須

本体操作方法

電源のON/OFF

バイクのエンジンに連動して電源ON/OFFが切り替わります。
 電源ONと同時に録画を開始します。
 また②電源ボタン長押しでON/OFF切替もできます。

モードの切替

録画停止中に④ボタンを短押しすると《動画モード》⇒《静止画モード》⇒《再生モード》に切り替わります。

動画モード

動画モード時に②OKボタンを短押しすると録画を開始します。もう一度押すと録画を停止します。
 ③アップボタンを押すとカメラ表示を切り替えます。ダウンボタンを押すと録画ON/OFFを切り替えます。
 録画停止中に④ボタンを長押しすると動画設定が表示されます。もう一度④ボタンを押すと本体設定に移動します。
 ③アップ/ボタンで設定したい項目を選択して②OKボタンで決定します。
 設定画面から戻るには④ボタンを押します。

●動画設定

《解像度》フロントカメラの解像度を設定します。※1080P設定は機能しません。720Pで保存されます。
 《ループ録画》1ファイル毎の録画時間を設定をします。OFFの場合は時間を区切らず録画を続けます。
 《露出補正》露出補正值を設定をします。
 《録音》録音のON/OFFを設定をします。
 《日付スタンプ》日時表示のON/OFFを設定をします。
 《Gセンサー感度》Gセンサー感度を設定をします。
 《パーキングガード》駐車監視のON/OFFを設定をします。

●本体設定

《スクリーンセーバー》画面表示が消えるまでの時間を設定をします。OFFの場合は常に画面表示をします。
 《オートパワーOFF》操作しない場合に自動的に電源が切れるまでの時間を設定をします。OFFの場合はエンジンを切るまで電源ON状態が続きます。
 《キーサウンド》操作音のON/OFFを設定をします。
 《言語》表示言語を設定をします。
 《日付/時刻》日付・時刻を設定をします。③アップ/ボタンで数値変更、②OKボタンで項目移動をします。設定完了後は④ボタンで戻ります。
 《フォーマット》microSDカードをフォーマットをします。
 《初期設定》初期設定に戻ります。
 《バージョン》本機のバージョンを表示をします。

カメラ表示切替

動画モード時に③アップボタンを押す毎にカメラ表示が切り替わります。



フロント/リアカメラ単独表示



リアカメラ小窓表示



2分割表示

静止画モード

静止画モード時に②OKボタンを短押しすると静止画を撮影します。
 ③アップボタンを押すとカメラ表示を切り替えます。
 ④ボタンを長押しすると静止画設定が表示されます。もう一度④ボタンを押すと本体設定に移動をします。

●静止画設定

《キャブチャームード》セルフタイマーを設定をします。
 《解像度》静止画の解像度を設定をします。
 《連写》連写のON/OFFを設定をします。
 《露出補正》露出補正值を設定をします。
 《日付スタンプ》日時表示のON/OFFを設定をします。

再生モード

- ③アップ/ダウンボタンで再生するファイルを選択をします。
- ②OKボタンで再生を開始をします。もう一度押すと再生を一時停止をします。
- ④ボタンを長押しすると再生設定が表示をします。

●再生モード設定

《削除》ファイル削除を行います。
 《保護》ファイルのロックやロック解除を設定をします。

リモコン操作について



リモコンを手元に取り付けることができ簡単に操作を行えます。

●動画モード時

常時録画中に①ロックボタンを短押しすると静止画を撮影、長押しすると録画中のファイルを上書きしないようにロックをします。
 ②OKボタン短押しで録画開始/停止ができます。

●静止画モード時

①ロックボタン ②OKボタンどちらも短押しで静止画を撮影をします。

①ロックボタン

②OKボタン

③録画ランプ

録画中…点灯 / 録画停止中…点滅

駐車監視機能

動画設定で《パーキングガード》をONにして、《Gセンサー》をOFF以外に設定をします。
 エンジンを切っても衝撃を検知すると内蔵バッテリーによって本体がONになり、30秒間のロックファイルを録画をします。
 ※バッテリー容量不足、または状況により駐車監視録画が機能しない場合があります。